

## 公益財団法人いばらき腎臓財団

[法人の概要]

令和5年7月1日現在

代表者名	理事長 山縣 邦弘(非常勤)	県所管部課	保健医療部医療局薬務課	
所在地	つくば市天久保2-1-1	電話番号	029-858-3775	
ホームページURL	<a href="http://www.iba-jinzou.com">http://www.iba-jinzou.com</a>	E-mailアドレス	<a href="mailto:infoiba@iba-jinzou.com">infoiba@iba-jinzou.com</a>	
資本金(基本財産)	417,826	千円	設立年月日	平成1年12月14日
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(千円)	出資比率
	1	茨城県	281,288	67.3%
	2	市町村	100,000	23.9%
	3	茨城県腎臓病患者連絡協議会	10,000	2.4%
	4			
	5			
その他	7団体6個人		26,538	6.4%
設立目的	臓器移植を普及促進するとともに、慢性腎臓病予防の総合的な対策を図り、県民の健康、福祉の向上に寄与すること。			

[事業の概要]

(単位:千円)

事業名	令和2年度	令和3年度	令和4年度	内容	
事業1	移植推進事業	5,497	5,143	4,566	【目的】臓器提供関係業務や臓器提供者家族支援を円滑に行うため、医療機関関係者等を支援する
	全体事業に占める割合	43.4%	42.4%	42.9%	【内容】医療機関関係者や臓器提供者家族支援員の研修会の開催等
事業2	普及・啓発事業	2,147	2,058	1,330	【目的】臓器提供の推進及び慢性腎臓病の発病予防を図るための普及・啓発
	全体事業に占める割合	16.9%	17.0%	12.5%	【内容】啓発資材作成やキャンペーンを行う経費、広報紙作成、学校等での学習会等の開催等
事業3	組織適合検査助成事業	435	450	585	【目的】腎臓移植希望者に係る組織適合検査料の助成
	全体事業に占める割合	3.4%	3.7%	5.5%	【内容】腎臓移植希望者の経済的負担軽減を図るため、HLA組織適合検査費用の一部を助成
その他事業	事業1~3以外	4,594	4,467	4,167	・その他慢性腎臓病予防事業 ・事務局運営、管理業務
	全体事業に占める割合	36.3%	36.9%	39.1%	
全体事業	12,673	12,118	10,648	指定管理者	
全体割合	100.0%	100.0%	100.0%		

## ＜ 公益財団法人いばらき腎臓財団 から県民のみなさまへ ＞

公益財団法人いばらき腎臓財団は、「慢性腎臓病の予防事業」と「臓器移植の普及推進」を使命に、また臓器提供に携わる救急医療従事者ならびに腎不全診療に携わる医療従事者を対象とした「研究助成と褒賞」事業を実施し、県民の医療福祉向上に寄与すべく活動を展開しております。県民の皆様、関係者の皆様の温かいご支援に厚く御礼申し上げます。

茨城県内での腎不全は、依然として県民死亡要因の第8位に位置しております。最も有効な治療法の腎臓移植において、県内の脳死下・心停止後の腎臓提供数は着実に増加しておりますが、移植希望者数に対する移植数はまだまだ少ない状況です。

近年のコロナ禍の影響は厳しいものでしたが、幸いにも当財団は関係者のご協力により活動を継続できております。県民の皆様慢性腎臓病の予防や臓器提供に関するご理解をいただけるよう、引き続き積極的な啓発活動を推進して参ります。今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

令和6年2月 理事長 山縣邦弘

[経営状況] 公益財団法人いばらき腎臓財団 (単位:千円)

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減数	増減理由
正味財産増減計算書	経常収益	12,436	12,126	10,665	△ 1,461	寄附金の減少
	基本財産運用益	4,640	4,284	4,169	△ 115	
	事業収益	0	0	0	0	
	受取補助金等	443	160	200	40	事業数の復活
	その他収益	7,353	7,682	6,296	△ 1,386	寄附金の減少
	経常費用	12,673	12,118	10,648	△ 1,470	
	事業費	8,900	8,454	7,514	△ 940	退職に伴う給与費減
	管理費	3,773	3,664	3,134	△ 530	リース機器終了
	うち役員人件費	2,691	2,690	2,691	1	
	うち職員人件費	4,137	3,975	2,209	△ 1,766	
	評価損益等	0	0	0	0	
	経常増減額	△ 237	8	17	9	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	0	0	
	経常外増減額	0	0	0	0	
法人税・住民税・事業税	0	0	0	0		
一般正味財産増減額	△ 237	8	17	9		
指定正味財産増減額	0	0	0	0		
正味財産期末残高	425,729	425,737	425,754	17		
貸借対照表	資産合計	427,760	427,331	427,536	205	
	流動資産	8,306	8,022	8,078	56	
	固定資産	419,454	419,309	419,458	149	
	負債合計	2,031	1,594	1,782	188	
	流動負債	951	298	270	△ 28	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	1,080	1,296	1,512	216	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
正味財産合計	425,729	425,737	425,754	17		
基本財産充当額	417,298	417,310	417,321	11		
県財政関与状況	補助金	0	0	0	0	
	委託料	0	0	0	0	
	貸付金	0	0	0	0	
	その他(分担金・負担金・出捐金等)	0	0	0	0	
	合計	0	0	0	0	
	財政的関与の割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	損失補償・債務保証契約に係る債務残高(期末)	0	0	0	0	
	借入金残高(期末)	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0		

主要経営指標	算式等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	増減P	備考
公益目的事業比率	認定法第15条に定める率	70.2%	69.8%	70.6%	0.8	
管理費比率	管理費/経常費用	29.8%	30.2%	29.4%	△ 0.8	
人件費比率	人件費/経常費用	53.9%	55.0%	46.0%	△ 9.0	
自己収益比率	自己収益額/経常収益	62.7%	64.7%	60.9%	△ 3.8	
流動比率	流動資産/流動負債	873.4%	2691.9%	2991.9%	299.9	
借入金比率	借入金残高/負債・正味財産合計	0.0%	0.0%	0.0%	0.0	

[組織]

7月1日現在の人数		令和3年			令和4年			令和5年			増減数	増減理由
		県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB			
役員	常勤理事・監事	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
	非常勤理事・監事	11	0	0	11	0	0	12	1	0	1	
	計	12	0	0	12	0	0	13	1	0	1	
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般職	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	嘱託・臨時職員等	2	/	/	3	/	/	3	/	/	0	
	計	3	0	0	3	0	0	3	0	0	0	
当期	プロパー職員平均勤続年数	0.0年	常勤職員(嘱託・臨時職員を除く)の年齢構成						平均年齢	常勤役員平均報酬(年額)		
			~20代	30代	40代	50代	60代	合計		1名のため個人情報となる報酬は非公開 千円		
								0.0歳	プロパー職員平均給与(年額)			
									0.0千円			

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	9	20	20	100%
計画性	8	20	20	100%
組織運営健全性	10	18	20	90%
効率性	10	13	18	72%
財務健全性	9	17	17	100%
合計	46	88	95	93%

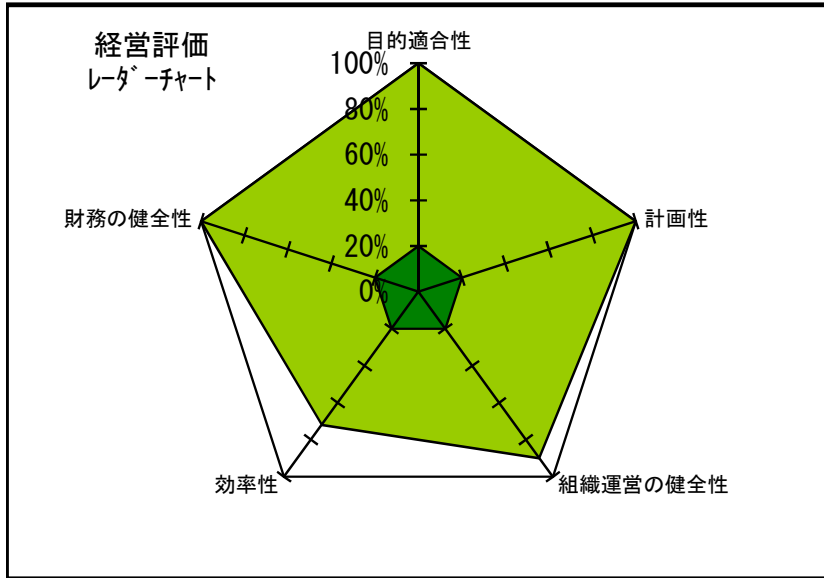
公益法人等会計用

公益財団法人いばらき腎臓財団

警戒指標

《評価の視点》

目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか
財務健全性	法人の財務体質が健全であるか。また、各事業の採算性がとれているか



[法人の自己評価（経営概況、経営上の課題・対策等）]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
<p>臓器移植提供の普及啓発事業と慢性腎臓病予防事業を柱として、県民の健康・福祉の向上に努めており、目的に適合している。</p> <p>研究助成と褒賞事業は、臓器提供を実現する現場当事者の意欲向上を喚起するとともに、やりがいをもたせる取組であり、臓器移植の推進に寄与するものである。</p>	<p>計画していた学校向け学習会等は、コロナ禍の影響はあったものの開催方法の浸透などもありほぼ予定数で実施できた。いのちの学習会は7月から2月の期間に集中することが多く、担当員の習熟を考慮し20回程と考えている。CKD予防研修会は筑波大学医療系医師の支援が潤沢で市民公開講座など医師会との連携も含め増加実施していく。</p>	<p>最少スタッフ数での運用で負担が大きかったが、各人の習熟により目標の多くを達成できた。今後は専門スタッフの確保が大きな課題となるが、内部スタッフの一層の研鑽で補完出来るように努力していく。情報公開については、ホームページのスマートフォン対応の効果を得るべく積極的に発信していく。</p>	<p>収益事業を持たないため寄附金は重要であるがチャリティベンダーや募金箱等からの収益は少額にとどまり、即効性に欠ける。効率的に100千円単位の大口寄附獲得に努め、6件を獲得するなど収益に貢献できた。今後は、裾野の拡大目的で千円程度の寄附サポートを患者会等も加えて募り、電子決済システム導入も検討していく。</p>	<p>基本財産の満期償還に伴う買い替えは500千円程度の果実減額となり、この状況下で所定の事業を實踐し黒字で完遂できた。財政的脆弱性はあるものの現収益を維持することで健全運営は可能であり、更なる収益安定を確保するために、クラウドファンディング等を検討していく。</p>
<p>今後の事業展開の方向及び法人の将来展望</p>	<p>県民の臓器移植への理解を深めるため、移植に関する情報を発信していく。これには「いのちの学習会」事業が効果的・効率的であることは揺るがず継続して実施していく。</p> <p>また、組織適合検査費用助成で移植希望者を支援し、更に地域連携研修等で医療機関を支援するほか臓器提供者家族支援事業を実施することで、全体バランスを保ちその推進に努める。</p> <p>研究助成・褒賞事業では、移植医療や慢性腎臓病予防医療に係る県内研究者の意欲向上と制度の周知強化により一層の充実を図っていく。</p> <p>当法人は、県民の健康・福祉の向上に寄与するため、慢性腎臓病予防事業により腎臓病患者数の減少に寄与し、他方臓器移植の啓蒙・啓発推進により臓器移植の関心度向上に邁進していく。</p>			

[法人担当課の意見]

目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
臓器移植推進の普及啓発事業と慢性腎臓病対策事業の実施により県民の健康と福祉の向上に努めている。褒賞と研究助成により研究者の意欲の向上を図っており、目的に適合した事業を展開している。	これまでの実績と計画の差異を比較検討した結果に基づき中期運営計画を策定しており、その数値目標に沿って計画的に賛助会員等の確保や「いのちの学習会」の実施など事業を遂行している。	移植医療に携わった経験がある民間病院出身者を常勤役員に登用しており、その知識や経験を組織運営に活かしている。 また、危機管理マニュアルを改定するとともに、会計の専門家による財務への関与を得ることで、健全な財務評価に努めている。	県の補助金や委託料、借入金に依存することなく、10万円寄附金趣意書を提示した募金活動など地道な活動により自主財源の確保に努めているほか、限られた職員により効率的に事業を推進している。	自主財源の確保に努めながら事業を効率的に遂行してきた結果、正味財産増減額は2期連続で黒字を計上するとともに、流動比率は300パーセント近くを維持しており、財務は健全な状態にある。
<p>法人担当課の意見</p> <p>法人は、常勤役員等の知識や経験を活かしつつ中期運営計画に基づく堅実な組織運営を行うとともに、賛助会員制度や寄附の呼び掛けにより自主財源の確保に努めており、県に依存することなく自主性・自立性の向上を図っている。 限られた人員で効率的に事業を運営し、移植医療の普及啓発等に継続的に貢献していることから、法人の事業の推進について一層の支援をしていく。</p>				

[経営目標]

区分	指標名	単位	R2実績	R3実績	R4目標値	R4実績	達成度(%)	R5目標値	
経営目標	事業成果	1 いのちの学習会		13	30	25	24	96.0%	22
		2 ドナー家族支援員研修		1	1	1	1	100.0%	1
	健全性	1 無借入金制度		100	100	100	100	100.0%	100
		2 正味財産増減額		-237	8	0	17		0
	効率性	1 自己収入比率		60	60	60	60	100.0%	60
		2 無補助金度（行政から）		100	100	100	100	100.0%	100
平均目標達成度							99.2%		

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	目的適合性	計画性	組織運営健全性	効率性	財務健全性
	<b>概ね良好</b>	改善の余地あり	改善措置が必要	大いに改善を要する	
総合的所見等	<p>法人は、設立目的に沿った運営が行われており、コロナ禍においてオンライン形式を取り入れた「いのちの学習会」や医療関係者向けの研修会、若手研究者・医療関係者等に対する研究助成や褒賞事業など、他の法人では実施していない特別な事業を行っている。 引き続き、「いのちの学習会」による命の大切さの啓蒙や組織適合検査費用の助成等により、本県における脳死下・心停止後の臓器提供者の増加や臓器移植推進につながる効果的な諸事業を実施されたい。 また、基本財産運用益の増収が見込めない中、事業を安定的かつ継続的に実施するためには、自主財源の確保を図り、自己収益比率を高める必要があることから、様々な機会を通して法人の取組をPRし、賛助会員の拡充や寄付金の募集等により財政基盤の充実を図り、今後も県民の健康・福祉の向上に寄与されたい。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>県内の脳死下・心停止後の臓器提供件数は、着実に増加しているものの、その数は移植を希望して待機している患者数に比べると大きく不足している状況である。 こうした状況の改善に向けて、「いのちの学習会」など、命の大切さや臓器移植の意義を普及啓発する事業について、本県における脳死下・心停止後の臓器提供者の増加や臓器移植推進につながる効果的な方法を法人とともに模索していく。 また、事業活動を支える財政基盤については、近年の金融環境により、基本財産運用益の増収が見込めないことから、法人の取組のPRによる賛助会員の拡充や寄付金の募集など、事業に必要な自主財源の確保について、継続的に支援をしていく。</p>				